

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
112	国際交流推進事業	会計	01	一般会計	
55	外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	款	02	総務費	
		項	01	総務管理費	
		目	07	文化振興費	
		細目	102	国際交流推進事業	
		細々目	01	国際交流推進事業	
担当部課名	青山支所総務振興課				
作成者氏名	小澤 猛	連絡先	0595-52-1114		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	市民及び伊賀市に在住する外国人	外国人との交流を通じて、異なる文化についての関心や理解を深め、多文化共生社会を担う市民が増える。			
本年度事業内容	青山国際交流協会の活動を支援します。				
開始年度	平成 9 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市支所関係補助金等交付要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	500	450	400
委託料			
補助金	500	450	400
その他			
合計(A+B)	1,220	1,170	1,120
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,220	1,170	1,120
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
会員数	人	28	30	—			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
会員数	対前年比会員数の増加人数に基づき国際交流についての市民の国際化意識の高まりの指標とします。	人	28 目標 ( )	30	—
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

現在旧市町村単位で国際交流協会を組織し、それぞれの活動を行っていますが、平成19年度を目的に伊賀市国際交流協会に一本化についての協議を進めている。

評価	必要性	4	伊賀市の在留外国人の比率は高く、行政面での接点も多く事業の必要性は高い。地域的には在留外国人の居住比率にバラツキもあり、事業計画の構築に工夫も必要です。	総合評価 <b>B</b>
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		